

J R 芸備線に係る基本認識の共有

現状分析結果

(地域カルテ・駅カルテ・地域間移動)

三次・安芸高田・広島まちづくり交通協議会

1 地域カルテ・駅カルテ

第2回協議会資料
資料2 P9

今後の議論に向けて、各エリアの現状の整理については、以下のとおり

- エリア（地域）内の施設について、駅との位置関係も含めた詳細調査を進める。
- 二次交通に関する課題について、移動手段やサービス水準、乗り継ぎ環境などの現状の要因分析を進める。
- 3市で連携した広域的な交流の促進に資する取組に向けた検討を進める。

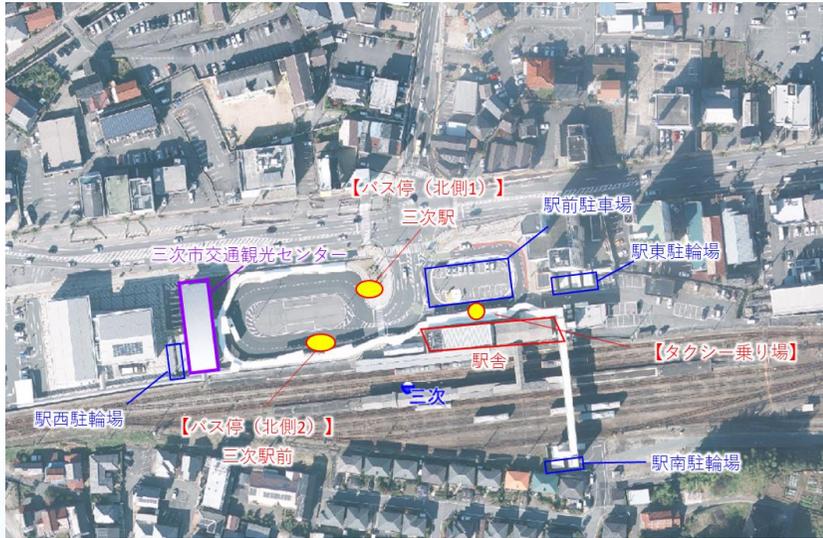


以下の調査を行った。

- ①地域カルテの作成〔参考資料1〕
- ②駅及び駅周辺施設状況（駅カルテ）の作成〔参考資料2〕

1 地域カルテ・駅カルテ

三次エリア
〔三次駅・西三次駅・志和地駅・上川立駅〕



三次駅 駅周辺



志和地駅 駅前



西三次駅 駅周辺



西三次駅 駅前駐車場

1 地域カルテ・駅カルテ

三次エリア

[三次駅・西三次駅・志和地駅・上川立駅]

駅名	三次	西三次	志和地	上川立
駅勢圏人口（人）	9,270	2,627	2,203	2,205
乗車人員（人/日） （通勤定期、通学定期）	262 (43、99)	6 (0、5)	35 (11、22)	23 (13、9)

※ 三次駅の乗車人員については、下り(広島)方面利用者のみで算出

- ・ 三次駅は二次交通が充実した交通結節点となっており、乗車人員はエリアの中でも比較的多い。
- ・ 西三次駅はエリア内で比較すると、駅周辺人口に対して、乗車人員が非常に少ない。また、駅前駐車場の設置台数は多いが、芸備線利用者の駐車場としては活用されていない。
- ・ 三次駅以外は駅までバスが乗り入れておらず、二次交通としては、公共交通ではタクシーが中心になっている。
- ・ 各地区のまちづくり団体（住民自治組織）が、地区の特色に応じた主体的な活動に取り組んでいる。

1 地域カルテ・駅カルテ

甲田エリア [甲立駅・吉田口駅]



甲立駅 駅舎



吉田口駅 駅舎



甲立駅 駅前広場



吉田口駅 駅前広場

1 地域カルテ・駅カルテ

甲田エリア [甲立駅・吉田口駅]

駅名	甲立	吉田口
駅勢圏人口（人）	4,038	1,525
乗車人員（人/日） （通勤定期、通学定期）	99 （31、43）	41 （15、24）

- ・ 駅舎や駅前広場、駐車場等の駅関連施設が充実している。
- ・ バスが駅前まで乗り入れているが、便数が充実しているとは言えない状況。
（各路線 甲立駅0～5便、吉田口駅0～6便）
- ・ 吉田口駅はタクシー乗降可能な駅前広場を有する一方、主要なタクシー運行事業者がない。
- ・ エリア内に工場等の就業施設が複数立地しているが、鉄道利用の通勤者は少ない。
- ・ 各地区まちづくり団体(地域振興会)が、駅周辺で自治体と協力しながら地域を盛り上げる活動を行うなど、駅の利活用に取り組んでいる。

1 地域カルテ・駅カルテ

向原エリア 〔向原駅〕



向原駅 駅周辺



向原駅 駅舎

1 地域カルテ・駅カルテ

向原エリア 〔向原駅〕

駅名	向原
駅勢圏人口（人）	3,042
乗車人員（人/日） （通勤定期、通学定期）	202 （38、115）

- ・ 向原駅近くに向原高校があり、快速列車の停車駅でもあることから、乗車人員は比較的多い。
- ・ 駅舎や駅前広場、駐車場等の駅関連施設が充実している。
- ・ エリア内に工場等の就業施設が複数立地しているが、鉄道利用の通勤者は少ない。
- ・ 東広島高田道路(向原～吉田間)開通に伴い、安芸高田市の吉田町へのアクセス環境の改善が期待される。
- ・ 向原高校の高校生や地域振興会が、駅を活用してイベントや祭りを開催するなど、駅の利活用に取り組んでいる。

1 地域カルテ・駅カルテ

白木エリア〔井原市駅・志和口駅・上三田駅
・中三田駅・白木山駅〕



井原市駅 駅舎



白木山駅 駅舎



中三田駅 月極駐車場



上三田駅 駅舎

1 地域カルテ・駅カルテ

白木エリア〔井原市駅・志和口駅・上三田駅
・中三田駅・白木山駅〕

駅名	井原市	志和口	上三田	中三田	白木山
駅勢圏人口（人）	1,166	6,857	4,644	3,883	3,680
乗車人員（人/日） （通勤定期、通学定期）	59 (21、22)	215 (72、100)	44 (21、11)	82 (18、48)	100 (35、45)

- ・ トイレの無い駅や駅舎・駅設備の簡素な駅が多く、待合環境が不十分な状況。
- ・ 駐車場がある駅もあるが、ほぼすべて月極駐車場となっており、買い物等の生活利用でのパークアンドライドが難しい。
- ・ 鉄道と並行している主要地方道広島三次線において、バスが運行しているが、駅に乗り入れていないため、乗継利便性が低い。
- ・ エリア内に工場等の就業施設が複数立地しているが、鉄道利用の通勤者は少ない。
- ・ りょうま駅長記念館や白木山、荒谷山、神ノ倉山などの登山や観光農園など、豊かな自然を生かした観光場所など、観光資源は多いがエリア内に分散している。
- ・ 井原市駅や志和口駅周辺では、芸備線や駅の利活用を目指す地域団体が活動しており、今後、地域団体の活動による駅周辺の活性化が期待される。

1 地域カルテ・駅カルテ

高陽エリア〔狩留家駅・上深川駅・中深川駅
・下深川駅・玖村駅・安芸矢口駅〕



狩留家駅 駅舎



下深川駅 駅舎



玖村駅 駅舎



安芸矢口駅 駅舎

1 地域カルテ・駅カルテ

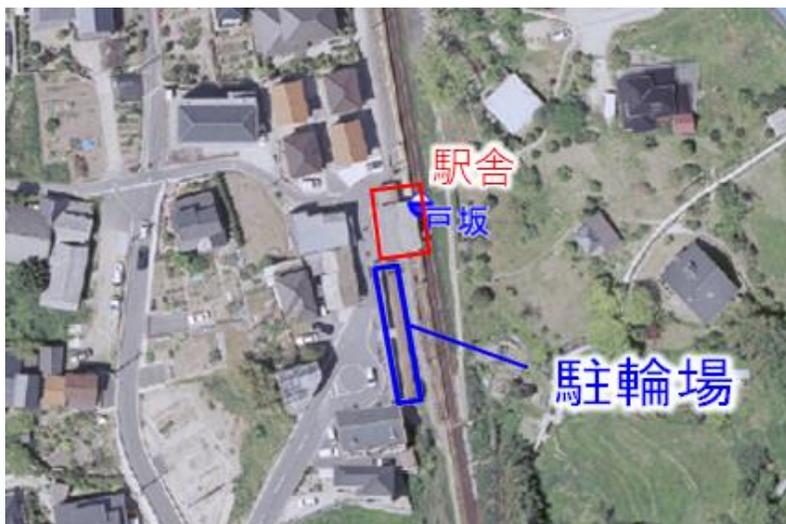
高陽エリア〔狩留家駅・上深川駅・中深川駅
・下深川駅・玖村駅・安芸矢口駅〕

駅名	狩留家	上深川	中深川	下深川	玖村	安芸矢口
駅勢圏人口（人）	1,102	3,634	7,792	9,410	10,885	24,184
乗車人員（人/日） （通勤定期、通学定期）	123 (59、29)	270 (119、68)	348 (134、115)	1,096 (541、242)	837 (318、247)	1,612 (768、321)

- ・ 各駅に駅舎、トイレがあり、待合環境は比較的充実している。
- ・ 各駅に券売機やICOCAがあり、利用環境も充実している。
- ・ 駐車場がある駅が少ない。
- ・ 駐輪場はあるが、ほぼ満車状態の駅が多い。
- ・ 上深川駅周辺は工場等の就業施設が複数立地しているが、鉄道利用の通勤者は少ない。
- ・ 駅周辺が市街化区域となっており、商業施設や医療施設等の生活利便施設が比較的充実している。
- ・ 狩留家駅、中深川駅、下深川駅周辺では、芸備線や駅の利活用を目指す地域団体が活動しており、今後、地域団体の活動による駅周辺の活性化が期待される。

1 地域カルテ・駅カルテ

戸坂 (戸坂駅周辺) エリア [戸坂駅]



戸坂駅 駅周辺



戸坂駅 駅舎



戸坂駅 駐輪場



戸坂駅 駅前広場

1 地域カルテ・駅カルテ

戸坂 (戸坂駅周辺) エリア [戸坂駅]

駅名	戸坂
駅勢圏人口 (人)	12,091
乗車人員 (人/日) (通勤定期、通学定期)	1,294 (486、405)

- ・ 駅前広場が小さく、バス停も遠いため、駅周辺の人口規模に対して交通結節点としては機能が不十分な状況。
- ・ 駐輪場はほぼ満車状況。
- ・ 戸坂駅はエリアの市街地から少し離れた高台に位置しており、地域内の主要な施設からは500m以上距離がある。
- ・ 通学利用者の割合が比較的高い。
- ・ 鉄道と並行している一般県道府中祇園線において、市内中心部へ向かうバス路線の便数が充実しているが、朝夕は道路混雑による影響を受けやすい状況。
- ・ エリア内には、「生活」、「学び」、「交流」関係の施設は充実しているが、「働き」に関する大規模な事業所等はほとんどない。

1 地域カルテ・駅カルテ

二葉 (矢賀駅周辺) エリア [矢賀駅]



矢賀駅 周辺図



矢賀駅 駅舎



矢賀駅 駐輪場

1 地域カルテ・駅カルテ

二葉（矢賀駅周辺）エリア〔矢賀駅〕

駅名	矢賀
駅勢圏人口（人）	9,943
乗車人員（人/日） （通勤定期、通学定期）	906 （411、110）

- ・ 駅前広場がなく、バス停も遠いため、駅周辺の人口規模に対して交通結節点としては機能が不十分な状況。
- ・ 鉄道に並行している主要地方道広島中島線において、市内中心部へ向かうバス路線の便数が充実しているが、朝夕は道路混雑による影響を受けやすい状況。
- ・ 駅の乗車人員に対して、駐輪場の規模がかなり小さい。
- ・ 近隣に大規模商業施設（イオンモール広島府中）があり、北方面からの来訪者の最寄り駅となっている。

1 地域カルテ・駅カルテ

○ エリア全体

- ・ スーパーやコンビニ等の商業施設は全エリアに一定数存在するが、医療施設や高等学校がないエリアもあり、エリアを跨いだ移動が不可欠な状況。
- ・ 駅関連施設の整備状況は駅毎に様々であるが、駐輪場は、西三次駅、上三田駅を除く全駅に整備されている。
- ・ 駐車場は、駅毎にバラつきがあり、充実しているとは言えない状況。
- ・ 白木エリア以北では、バス便数に比べてJR芸備線の便数が倍以上あり、公共交通を利用している地域住民にとっては、重要な交通手段となっている。
- ・ 沿線では、年間を通じて人々の交流を促す様々なイベントが開催されている。

2 地域間移動

第2回協議会資料
資料3 P19

今後の議論に向けて、以下の項目について分析が必要

- 国勢調査を活用した交通流動の追加分析
 - ・交通手段別の流動分析
 - ・過年度調査結果との比較
- 広域的な潜在需要の分析
 - ・人流データや既存資料（観光に関する統計資料等）を活用した分析



以下の調査・分析を行った。

- ①国勢調査の過年度（R2、H22、H12、H2）調査結果の分析〔参考資料3〕
- ②国勢調査の利用手段別調査結果（R2、H22）の分析〔参考資料3〕
- ③広島県モビリティデータ連携基盤を活用した人流データ分析〔参考資料4〕
- ④既存資料（広島市観光概況、広島県観光客数の動向）を活用した分析

2 地域間移動

①国勢調査の過年度（R2、H22、H12、H2）調査結果の分析

- ・通勤・通学による移動量の基礎となる、沿線地域(三次市、安芸高田市、安佐北区、東区)の就業者数・通学者数は、減少傾向にある。

【就業者】

- ・三次市や安芸高田市の通勤移動は「発地計<着地計」であるが、安佐北区や東区は「発地計>着地計」となっている。
- ・安佐北区や東区発で安芸高田市着の通勤移動が近年増加している。

⇒ 広島市に居住して、安芸高田市や三次市へ通勤する人の増加が推察される。

【就業者数

・通学者数の推移(人)】

【R2就業者の通勤移動(人)】

【安芸高田市着の通勤移動(人)】

	就業者	通学者
R2	789,193	80,390
H22	790,750	106,320
H12	849,310	113,726
H2	813,278	138,008

	発地計		着地計
三次市	23,841	<	24,762
安芸高田市	12,393	<	13,910
安佐北区	61,302	>	48,022
東区	54,328	>	41,278

	H22	R2	差分
安佐北区発	1,473	1,648	+175
東区発	96	101	+5

※ 15才以上の就業者・通学者について集計

2 地域間移動

①国勢調査の過年度（R2、H22、H12、H2）調査結果の分析

【通学者】

- ・三次市発で広島市（その他）着や庄原市着の通学移動が増えている。
 - ・安芸高田市を発地とする通学移動全体の減少量に比べて、安芸高田市から安佐北区や東区、広島市（その他）への通学移動の減少量は小さい。
- ⇒ **三次市や安芸高田市から周辺地域への通学需要が一定数存在する。**

【三次市発の通学移動(人)】

	H2	R2	差分
広島市(その他)	77	119	<u>+42</u>
庄原市	87	204	<u>+117</u>

【安芸高田市発の通学移動(人)】

	H2	R2	差分
全体	1,882	785	▲1,097
安佐北区着	93	85	▲8
東区着	40	28	▲12
広島市(その他)着	302	132	▲170

※ 15才以上の通学者について集計

※ 広島市(その他)：芸備線沿線区(安佐北区・東区)以外の区

2 地域間移動

②国勢調査の利用手段別調査結果（R2、H22）の分析

【就業者】

- ・三次市や安芸高田市の通勤移動における鉄道・電車利用割合は1%未満となっており、大半が自家用車で通勤している状況がうかがえる。
 - ・三次市や安芸高田市から東区への通勤移動における鉄道・電車利用割合がH22からR2にかけて大幅に減少している。
- ⇒ H30年西日本豪雨災害による一部区間における長期間運休の影響と推察される。

【発地別 鉄道利用割合(%)】

	H22	R2
三次市	0.5	<u>0.4</u>
安芸高田市	1.2	<u>0.8</u>
安佐北区	7.8	8.0
東区	9.0	10.7

【発地別 東区着鉄道利用割合(%)】

	H22	R2	差分
三次市	43.2	29.4	<u>▲13.8</u>
安芸高田市	20.3	10.9	<u>▲9.4</u>
安佐北区	22.3	23.6	+1.3
東区	2.6	3.4	+0.8

※ 15才以上の就業者について集計

※ データは国勢調査調査票情報（2010, 2020年）を利用して独自に集計等を行い作成

2 地域間移動

②国勢調査の利用手段別調査結果（R2、H22）の分析

【通学者】

- ・通勤移動に比べて鉄道利用割合が比較的高い。
 - ・三次市発で広島市（その他）着の通学移動において、鉄道・電車利用割合がH22からR2にかけて大幅に減少している。
- ⇒ 高速バス利用などへの転換が推察される。

【発地別 鉄道利用割合(%)】

	H22	R2
三次市	24.6	25.9
安芸高田市	22.5	19.7
安佐北区	27.9	33.4
東区	17.7	22.2

【発地別 広島市（その他）着鉄道利用割合(%)】

	H22	R2	差分
三次市	55.0	43.7	▲11.3
安芸高田市	46.6	44.7	▲1.9
安佐北区	42.0	54.1	+12.1
東区	19.9	27.2	+7.3

※ 15才以上の通学者について集計

※ 広島市(その他)：芸備線沿線区(安佐北区・東区)以外の区

※ データは国勢調査調査票情報（2010、2020年）を利用して独自に集計等を行い作成

2 地域間移動

③広島県モビリティデータ連携基盤を活用した人流データ分析

- ・ 三次駅～広島駅間の芸備線沿線において、通勤時間帯だけでなく、日中を含めた1日全体でもエリアを跨いだ移動が一定数みられる。
- ・ 平日と休日の比較において、全体的なエリア間の移動については、概ね同様の傾向となっている。
 - ⇒ **日中の買い物や通院などにおける近隣エリア間の移動が一定数あると想定されるが、鉄道利用割合が低いことから、自家用車による移動が多いものと考えられる。**

2 地域間移動

④既存資料（広島市観光概況、広島県観光客数の動向）を活用した分析

- ・広島市域における来広観光客数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束したことから近年増加傾向であり、R5年度は約1,230万人となっている。
- ・広島市来訪観光客に対するアンケート調査において、近郊での立寄場所は、「三次・庄原」が1.1%、「吉田・八千代・千代田」が0.0%となっており、広島県北部地域への観光客の誘導が十分でない。

〔広島市来訪観光客アンケート調査結果 近郊での立寄場所〕

名称	訪問率 (%)
三次・庄原	1.1
吉田・八千代・千代田	0.0
【参考】宮島	50.5

出典：令和6年版 広島市観光概況（広島市経済観光局観光政策部）

- ・安芸高田市、三次市来訪観光客の利用交通機関は、大半が自家用車となっている。

〔令和5年 交通機関別観光客数（千人）〕

	鉄道	バス	自家用車	総数
安芸高田市	1	48	2,177	2,262
三次市	8	119	2,007	2,146

出典：令和5〔2023〕年 広島県観光客数の動向
（一般社団法人広島県観光連盟(HIT)）